

児童発達支援

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズハウスのぞみ上市		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 12日		～ R7年 2月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	R7年 2月 12日		～ R7年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・キッズハウスのぞみ上市に通ってくれる子どもたちや保護者の方がみんな支援に満足してくれている。	子どもの発達に合わせたプログラムを作成している。 取り組みやすいように時には手作りで教材を準備している。 遊びの要素を取り入れ楽しみながら成長できるプログラムを工夫して取り組んでいる。	・子どもの発達段階について学びを深める。 ・研修会の充実 ・計画し、実施した取り組みについてのフィードバックを行い改善を行う。
2	・職員間の情報共有が行われている。 ・支援員との連携が取れている。	・毎日のミーティングや毎月行われる全体会で情報共有や研修会を行い職員のスキルアップにつなげ日頃の支援に生かしている。 ・年に数回会社全体で外部講師による接遇研修を行い職員の意識を高めている。 ・モニタリングや支援者会議などで情報共有しより良い支援につなげている。 ・ホームページやブログ等で取り組みについて発信している。	・研修会の充実 ・報告・連絡・相談の強化
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流、家族支援プログラムなど家族等が参加できる研修会や情報提供の場が少ない。	・保護者同士の交流会は開催してはいるものの限定的である。	・全ての保護者向け交流会や研修会を計画する。
2	・児童が通っている保育所や地域との連携を積極的に行う	・支援員さんとの連携、活動記録や送迎時を利用して児童ののぞみでの様子や保育所での様子を共有できているが、児童間、地域との交流ができていない。 ・利用時間、利用日が制限されているため難しい状況。	・地域の行事に参加し、キッズハウスのぞみを知ってもらう。 ・事業所の行事などに地域の方を招いて交流の場を作る。
3			